



報道関係者 各位

平成 24 年 5 月 15 日

【照会先】

職業安定局派遣・有期労働対策部
企画課若年者雇用対策室

室 長 久知良 俊二 (内線 5862)

室長補佐 仙田 亮 (内線 5691)

(代 表 電 話) 03(5253)1111

(直 通 電 話) 03(3597)0331

**大学等新卒者の就職支援の強化の効果について
～「卒業前最後の集中支援 2012」により大学生約1万6千人の就職が決定、
内定率にして約4ポイントの押し上げ効果～**

新規学校卒業予定者の厳しい就職環境（※1）を踏まえ、厚生労働省、文部科学省、経済産業省が連携した「卒業前最後の集中支援 2012」に取り組みました（※2、詳細は別紙1）。

大学等とジョブサポーターとの連携による個別支援の徹底により、1月～3月末で未内定者約3万9千人（去年同期は約3万3千人）が就職決定しました。特に平成24年3月卒の大学生については、同期間に約1万6千人（去年同期約1万1千人）が就職しており、内定率にして4.1ポイントの押し上げ効果がありました（詳細は別紙2）。

（参考）年間では2万9千人の大学生が就職。内定率では約7.7ポイントに相当。

就職が決まらないまま卒業した方に対しても、就職内定者と同様に社会人としてのスタートがきれるよう、6月末までを目途に、ジョブサポーターによる集中的な個別支援を実施し、1日でも早い就職の実現に向け、全力を尽くします（詳細は別紙3）。

※1 新規学校卒業予定者の就職環境

厚生労働省と文部科学省は、5月15日、平成23年度新規学校卒業予定者の就職内定状況を発表しました。

新規大学卒業予定者の就職内定率（平成24年4月1日現在）は93.6%（前年同期差2.6ポイント増、平成9年3月卒の調査開始以来過去6番目）となっており、平成23年10月1日時点（59.9%、平成9年3月卒の調査開始以来15番目）からの伸び幅は33.7ポイントと調査開始以来最高となりました。

なお、民間機関の調査では、平成25年3月卒業予定者に対する求人にも伸びがみられないなど、就職環境は依然として厳しいものとなっています。

※2 卒業前最後の集中支援 2012

- ① 新卒応援ハローワークのジョブサポーターと大学のキャリアカウンセラーの連携を一層密にする等、学校の協力により、未内定の学生・生徒の情報を学校と新卒応援ハローワーク等で共有し、ジョブサポーターが電話等により新卒応援ハローワーク等への利用を呼びかけるなどにより、未内定の学生・生徒に対し、一貫した就職支援を行いました。
- ② 未内定の学生・生徒のために、中堅・中小企業を中心とした就職面接会を開催します。
また、若年者のためのワンストップサービスセンター（通称：ジョブカフェ）において、未内定者等向けにカウンセリング等を実施するとともに、就職面接会等を開催しました。
- ③ 2012年卒業予定の大学等の学生及び既卒3年以内の未就業者を対象に、書類選考等なしで、面談が設定されるマッチングサービス（DREAM-MATCH NAVI）を実施しました。
また、ホームページ上で、直接応募を受け付けている企業についても掲載。被災者に配慮した採用を行う企業についても掲載しました。
- ④ 未内定の新卒者及び既卒3年以内の未就職者を対象に、中小企業の現場等で実習プログラムに沿った職場実習（いわゆるインターンシップ）を被災地域（青森県・岩手県・宮城県・福島県・茨城県・千葉県）において実施しました。
- ⑤ 大学等のニーズに応じ、未内定の学生の多い大学に対し、ジョブサポーターによる出張相談・セミナーを重点的に行うなど、大学等と連携した支援を実施しました。
- ⑥ 学校と連携し、未内定の学生・生徒をもつ保護者に就職の現状に対する理解を求めるとともに、学生・生徒に対して新卒応援ハローワークや最寄りのハローワークでの就職支援について、啓発文書の送付により周知し、支援を受けることを勧めていただきました。
- ⑦ 全国の中でも、特に大学が集積している東京都で、東京新卒応援ハローワーク（六本木）を新宿に移転・拡充するとともに、新たに支援拠点を増設し、ラストスパートを支援しました。



卒業前最後の集中支援2012の取組状況

新卒者の就職環境が依然として厳しいことを踏まえ、文部科学省、厚生労働省、経済産業省は、未内定の学生・生徒が1人でも多く卒業までに就職できるよう、1月17日から3月末までを集中支援期間とし、「卒業前最後の集中支援2012」を実施しました。

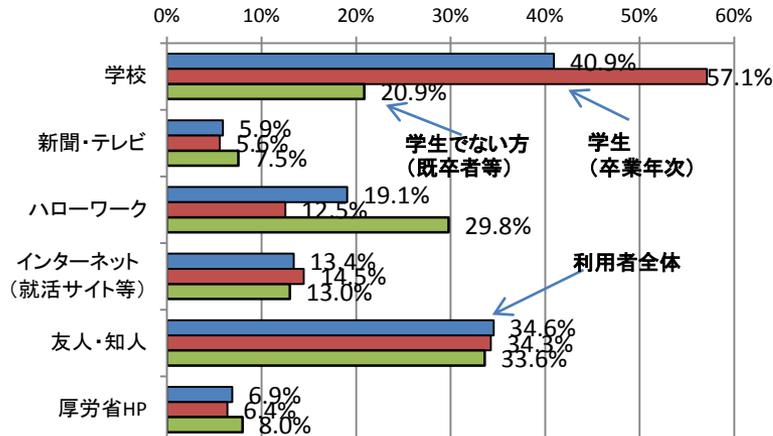
【目標】就職者数：3.5万人 未就職卒業者数：前年（7.5万人）以下
【実績】就職者数：3.9万人 未就職卒業者数：4.8万人

未内定の学生・生徒を「ひとりにしない」ジョブサポーターやキャリアカウンセラー等の連携による個別支援の徹底（文科・厚労）

【実績（1月～3月末・速報値）】 相談件数 のべ195,083件、 **就職者数 38,971人**

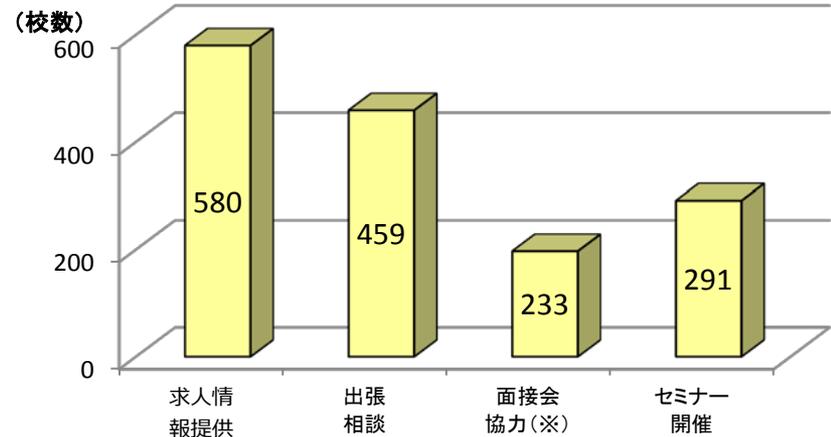
大学等から未内定者に新卒応援ハローワークを積極的に周知。大学生の利用者のうち**約57%**が大学等からの送り込みにより、新卒応援ハローワークに来所。新卒応援ハローワークの利用者も急増。1月～3月の利用者（現役学生）は**116,527人**（前年同期比**27.5%**増）。

新卒応援ハローワークを知ったきっかけ



出所：職業安定業務統計「新卒応援ハローワーク利用者アンケート調べ」（24年2月）

新卒応援ハローワークと大学等の連携状況



出所：職業安定局業務統計「大学との連携状況」（24年2月）

（※）大学が開催する面接会等へのジョブサポーターの派遣、参加企業のあっせんなど

新卒応援ハローワークと大学との連携が進み、平成24年1月末時点で**632大学**（1大学に複数の校舎があり、それぞれ別の新卒応援ハローワークと連携している場合は、別の大学としてカウント。）が新卒応援ハローワークのと連携し、学生の就職支援をしている。

（別紙1）

※ 1月17日に城井文部科学大臣政務官から各国公立大学長・短期大学長・高等専門学校長、各都道府県知事、各都道府県教育委員会教育長に対し、新卒応援ハローワーク等に支援を希望する未内定者の情報提供を要請。

中堅・中小企業中心の就職面接会の開催（厚労・経産）

未内定の学生・生徒のために、中堅・中小企業を中心とした就職面接会

【実績（1月～3月末・速報値）】 大学生向け 169回 / 高校生向け 129回

（開催例）

「第3回新規大卒者等合同就職面接会」

開催日：平成24年2月14日、 主催：東京新卒応援ハローワーク

参加企業数：173社 求人数：1,274人 参加学生数：1,715人

※ 就職面接会の開催スケジュールは、大卒等就職情報WEB提供サービスで検索できます。

(<http://job.gakusei.go.jp/service/231030.do?action=initDisp&screenId=231030>)

中小企業と学生等のマッチングを支援（DREAM-MATCH PROJECT）（経産）

若い人材を採用して成長したいとする中小企業と、社会に出て活躍したいとする新卒者等とのマッチングを支援する事業を実施。

【実績（平成23年8月1日～平成24年3月31日）】

参画企業数：3,124社、登録学生数：16,621名、 内定者：1,344名

民間就職情報サイトによるジョブサポーター・新卒応援ハローワーク等の周知（厚労）

主要な民間就職情報サイトに対し、ジョブサポーターや新卒応援ハローワーク等の周知のためのバナー掲載について協力を要請し、協力を得て、未内定の学生への周知を徹底。

（2月9日現在、協力いただいている就職情報サイト（掲載開始順））

○「マイナビ2012」：<http://job.mynavi.jp/2012/> （運営）株式会社マイナビ （掲載日）1月1日より

○「就活ナビ2012」：<https://navi12.shukatsu.jp/12/>

（運営）株式会社ダイヤモンド・ビックアンドリード （掲載日）1月4日より

○「学情ナビ2012」：<http://www.gakujo.ne.jp/2012/> （運営）株式会社学情 （掲載日）1月5日より

○「Re就活」：<http://re-katsu.jp/> （運営）株式会社学情 （掲載日）昨年度に引き続き掲載

○「リクナビ2012」：<https://job.rikunabi.com/2012/> （運営）株式会社リクルート （掲載日）1月6日より

○「日経就職ナビ2012」：<https://job.nikkei.co.jp/2012/top>

（運営）株式会社日経HR、株式会社ディスコ （掲載日）1月6日より

○「[en] 学生の就職情報2012」：<http://enjapan2012.com/> （運営）エン・ジャパン株式会社 （掲載日）1月10日より

○「就職ウォーカーNet2013」：<http://2013.s-walker.net/> （運営）株式会社ジェイ・ブロード （掲載日）1月26日より

○「就職ウォーカーNet2012」：<http://2012.s-walker.net/> （運営）株式会社ジェイ・ブロード （掲載日）2月9日より

中小企業で実習プログラムに沿った職場実習を実施 新卒者就職応援プロジェクトの実施（経産）

未内定の新卒者及び既卒3年以内の未就業者を対象に、中小企業の現場等で実習プログラムに沿った職場実習（いわゆるインターンシップ）を被災地域（青森県・岩手県・宮城県・福島県・茨城県・千葉県）において実施。

【実績】

平成24年1月から事業を開始し、約400件程度の実習成立（平成24年5月2日時点）
詳細はこちらで確認できます（URL：<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/koyou/jinzai.htm>）

東京の支援拠点の増設（厚労）

東京のメインとなる「東京及新卒応援ハローワーク」と「八王子新卒応援ハローワーク」を移転・増設し、大学生等の支援拠点を強化。また、飯田橋、渋谷、池袋、立川にもサテライトを設置し、地元の大学等と連携した個別就職支援、新卒応援ハローワークで開催するセミナー、就職面接会などの参加勧奨を実施。

【東京新卒応援ハローワーク】

設置日：2月20日（開所式に津田厚生労働大臣政務官が出席）

住所：東京都新宿区西新宿2-7-1小田急第一生命ビル21階

※ 六本木から、より利便性の高い場所に移転し、ジョブサポーターも増員



【八王子新卒応援ハローワーク】

設置日：3月5日

住所：東京都八王子市旭町10-2 八王子TCビル6階

※ 利用者の増加によりフロア変更・増設。ジョブサポーターも増員



【ハローワーク飯田橋新卒応援サテライト】

設置日：3月19日

住所：東京都文京区後楽1-9-20飯田橋合同庁舎内
ハローワーク飯田橋 学卒コーナー

※ 学卒求人確保を強化

【ハローワーク池袋新卒応援サテライト】

設置日：3月19日

住所：東京都豊島区東池袋3-5-13 ハローワーク池袋
学生支援コーナー

【ハローワーク渋谷新卒応援サテライト】

設置日：3月19日

住所：東京都渋谷区渋谷1-13-7ヒューリック渋谷ビル3階
マザーズハローワーク東京 内

※ 短大生を主な対象に支援

【ハローワーク立川新卒応援サテライト】

設置日：3月19日

住所：東京都立川市曙町2-7-16 鈴春ビル5階
立川ワークプラザ 内

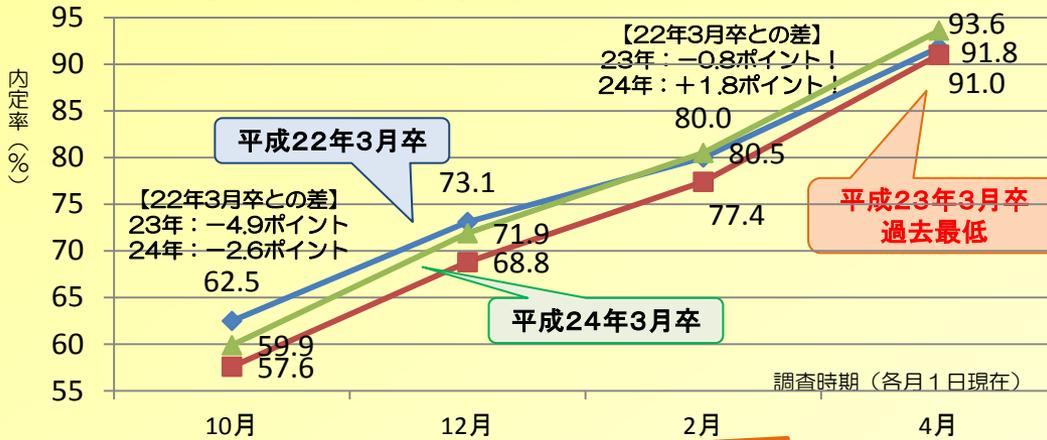
詳細は、追って東京労働局ホームページ（<http://tokyo-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>）でお知らせします。

ジョブサポーターによる支援の効果

内定率
押し上げ
効果！

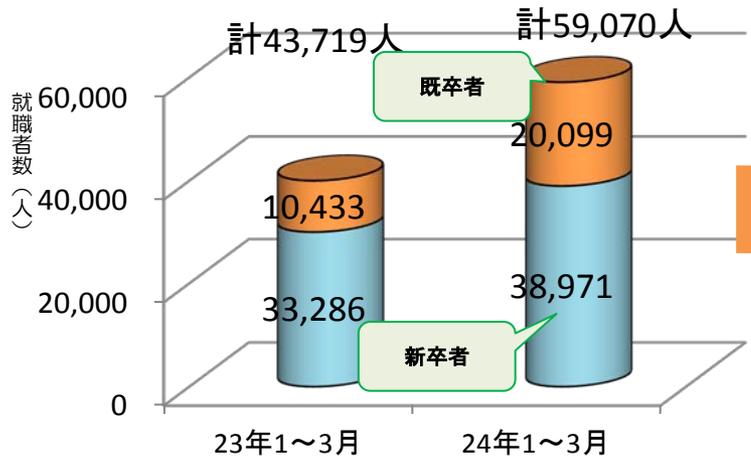
- 厳しい就職環境の中でも、ジョブサポーターの活動などにより、大卒者の就職内定率の改善に貢献しています。
 - 平成24年1月～3月で**15,543人**の現役大学生の就職が決定しており、卒業前最後の集中支援により、内定率にして**約4ポイントの押し上げ効果**がありました。
- ※ ジョブサポーターが支援・就職決定した15,543人が平成24年1～3月に就職が決まらなかったと仮定した場合

【新卒者支援の抜本的強化前との就職内定率の比較】



平成22年3月卒（新卒者支援の抜本的強化の前年）との差
【10月1日現在】
平成23年3月卒：-4.9ポイント
平成24年3月卒：-2.6ポイント
【4月1日現在】
平成23年3月卒：-0.8ポイント
平成24年3月卒：**+1.8ポイントまで上昇**

ジョブサポーターの支援による就職者数(1～3月計)



		1月	2月	3月	合計
24年3月卒	合計 (新卒者・既卒者)	14,703	19,572	24,795	59,070
	うち大学新卒者	3,671	4,853	7,019	15,543
	うち短大・高専・専修学校等新卒者	2,223	3,717	5,196	11,136
	うち高校新卒者	3,482	4,471	3,962	11,915



新卒者の早期の就職を全力で支援します！

◇厚生労働省、文部科学省及び経済産業省は、1人でも多くの新卒者が卒業までに就職できるよう、新卒者の皆様の就職を全力で支援しています。

◇1月17日から実施している「卒業前最後の集中支援2012」では、1月から3月末まででジョブサポーターの支援により、約3万9千人が就職するなどの成果が出ています。引き続き、卒業後も1日でも早く就職できるよう、6月末までを集中支援期間とし、全力で支援を行うとともに、卒業後も継続して、就職が決まるまで支援をします。

◇なお、昨年は4月以降のジョブサポーター等の支援により、19,815人の未内定者の就職が決定しました（平成23年4～6月）。

新卒応援ハローワーク等で就職活動を全力で支援

新卒応援ハローワーク等においては、ジョブサポーターによる個別支援を引き続き継続するとともに、卒業後も1日でも早く就職できるよう、全力で支援を行います。

ジョブサポーターによる個別支援

大学等とジョブサポーターとの情報共有による個別支援（大学等の協力により把握した未内定者への電話による来所勧奨や求人情報の送付など）を継続するとともに、就職活動についてのアドバイスや希望に沿った求人情報の提供などのマンツーマンの支援を徹底し、1日でも早い就職を目指します。

既卒者を採用する事業主への奨励金

卒業後3年以内の既卒者を採用した事業主への奨励金を活用し、未内定者・既卒者のための求人確保します。

就職面接会の追加開催

中小・中堅企業を中心に就職面接会を追加開催、企業との出会いの機会を増やします。
※5月1日～7月末に大学等卒業者向け55回、高校卒業者向け22回を予定（5月7日時点）

※ 上記の支援や新卒応援ハローワークについては、卒業後も利用可能です。
さらに、ニーズに応じて無料の職業訓練や地方公共団体による雇用創出事業も活用し、就職を支援します。

無料の職業訓練等によるスキルアップ

求職者支援制度による職業訓練において設定される未就職卒業者向けの無料の職業訓練や企業に雇用されながら生きた技能・技術を学ぶための雇用型訓練を活用し、スキルアップを支援します。

地方公共団体による雇用創出・人材育成

地方公共団体が「重点分野雇用創造事業」（※）を活用し、未就職卒業者等の人材育成を行う場合、新卒応援ハローワーク等で、未就職卒業者とのマッチングを実施します。
※ 国が都道府県に交付した基金により、介護、医療、環境等成長分野における新たな雇用機会創出や地域ニーズに応じた人材育成を行う事業。

採用意欲のある中小企業と若年者の雇用ミスマッチ解消

ジョブカフェ

各都道府県に設置された「ジョブカフェ（若年者のためのワンストップサービスセンター）」において、未内定者向けのカウンセリングや地域の中小企業とのマッチングなどの就職支援を実施しています。
（※ 各都道府県によって提供されているサービスは異なります。）

新卒者就職応援プロジェクト

既卒3年以内の未就業者を対象に、中小企業の現場等で実習プログラムに沿った職場実習（いわゆるインターンシップ）を、被災地域（青森県・岩手県・宮城県・福島県・茨城県・千葉県）において実施しております。

※ これらの支援策は大学・教育委員会等を通じて、広く周知するとともに、各学校に対して、既卒者に対しても支援を行うように依頼します。